

2024年3月定例会

富山市議会
会派
自由民主党

一般質問

2024年
3月8日(金)

くぼ
久保 ひろのり

市の人事評価制度について

久保

2014年の地方公務員法改正において人事評価制度が導入された。その背景は、優秀な人材の確保と人事の公正性の確保により職員の士気の向上を図ることで組織全体の職務能力が向上し、住民福祉の増進に寄与することを期待するものである。

国は人事評価の結果に基づき、国家公務員の場合、基本的に1年で4号俸昇給するが、上位5%は8号俸、上位20%までは6号俸昇給する。

平成26年8月15日付の総務省自治行政局通知において、地方自治体も国の取組を参考に運用を図ることとしている。

本市も能力評価及び業績評価に基づく人事管理をしているが、残念ながら、昇給については、勤務成績が著しく悪い場合を除き一律4号給昇給となっている。

能力が高い職員にとっては、高い目標を設定し、勤務に精励しても昇給に反映されないとすれば、無難な目標を設定し、余力を持って勤務するようになってしまい、組織としての職務能力が低下し、住民福祉の増進を阻害しかねない。

先日の代表質問で、20代、30代の職員が多数、自己都合により退職している実態が明らかになった。優秀な人材が待遇に不満を持ち、能力を高く評価してくれる民間企業に転職している可能性を危惧している。

社会全体が終身雇用、年功序列から能力主義へと変わり、若い世代の価値観も変わってきている。

国の取組を参考に人事評価の結果を給与に反映させるべきではないか。

企画管理部長

富山市職員の初任給、昇格、昇給等に関する規則では、国と同様の区分を定めている。

しかし、勤務成績が良好または良好を下回る職員は規則の規定どおり運用する一方、極めて良好または特に良好である職員は規則の規定とは異なり、良好である職員と同じ4号給とする運用を行っている。

人事評価の結果を給与面により適切に反映させることができるよう、人事評価制度の改善に向け調査・研究してまいります。

退職自衛官の職員採用について

久保

退職自衛官などには、自衛隊勤務経験者、即応予備自衛官、予備自衛官、予備自衛官補が含まれる。いずれも隊員になる際、「私は、我が国の平和と独立を守る自衛隊の使命を自覚し、日本国憲法及び法令を遵守し、一致団結、厳正な規律を保持し、常に徳操を養い、人格を尊重し、心身を鍛え、技能を磨き、政治的活動に関与せず、強い責任感をもって専心職務の遂行に当たり、事に臨んでは危険を顧みず、身をもって責務の完遂に務め、もって国民の負託にこたえることを誓います」と宣誓する。

宣誓し、苛酷な訓練や任務をこなしてきた退職自衛官が有する様々なノウハウや人間性は、本市が被災した場合だけでなく、本市の職員として通常業務を遂行する場合にも大変有益であると考えが見解を問う。

企画管理部長

本市での退職自衛官の存在は、危機管理対応だけでなく、仕事に取り組む姿勢や態度、上司への報告、連絡、相談の仕方など、様々な場面で本市職員の模範となるものであり、市政運営に大変よい影響や効果をもたらしている。

退職自衛官の市内企業の就職支援について

久保

自民党富山県連青年局では、毎年、建設業や農業など、様々な業界団体の青年部組織と意見交換会を行っている。意見交換会では、必ず人材不足について意見が出る。

自衛隊は精強さを保つため、若年定年制では50歳代で退職となり、任期制の場合は20代から30代半ばに任期満了で退職する。2023年度、20～30歳代半ばで任期満了する任期制自衛官は約3千人、50歳代で定年となる若年定年制自衛官が4千人と、合計7千人もの優秀な人材が退職を迎える。今後も毎年同程度の退職者が退職する。

コロナ禍や物価高騰など、厳しい経営環境で疲弊した民間企業において、様々な資格やノウハウを持ち、即戦力となる退職自衛官は喉から手が出るほど欲しい人材である。

自衛隊地方協力本部や自衛隊援護協会との連携を強化し、市内企業が一人でも多くの退職自衛官を獲得できるよう支援すべきと考える。

久保

ターゲットが明確な分、ニーズの把握もしやすく、戦略も練りやすい。多くの市民、企業とスクラムを組み、一人でも多くの退職自衛官に本市や本市の企業を選んでもらえるよう市として取り組むことについて見解を問う。

商工労働部長

退職された自衛官の方々は、企業から高い評価を受けており、様々な分野で活躍されていると伺っている。

しかし、市内で就職する退職自衛官はまだまだ少ない。

まずは自衛隊富山地方協力本部と連携し、退職を予定されている自衛官のニーズの把握や県外の部隊に所属されている自衛隊員への情報発信の方法も含め、検討してまいりたい。

久保

私は、東日本大震災の後に県内に避難されてくる方々を支援するボランティア活動をしていた。その時に、退職自衛官の方々と一緒に活動する機会があり、本当に素晴らしい人たちだった。退職自衛官の皆さんが被災者の方に寄り添って御尽力いただいた姿が今でも私は目に焼きついており、そういった方が富山市の市民となることは、企業だけではなく、地域にとっても大変良いことだと思う。みんなで歓迎できるような仕組みをつくっていききたい。

自衛官の退職後の再就職支援は雇用主たる国の責務であり、優秀な自衛官の確保のためにも極めて重要であり、退職前に職業訓練などの支援を行っている。職業訓練では様々な資格取得を支援している。

さらに、企業が即応予備自衛官を雇用した場合には、月額4万2,500円の雇用企業給付金が支払われる。さらに、即応予備自衛官や予備自衛官を雇用し、災害派遣等により企業での勤務を離れる場合にも、日額3万4,000円の給付金が支払われる。

実際に自民党富山県連青年局での意見交換会で、この制度の一端を説明したところ、詳細な情報がほしいと多くの声をいただいた。

市として広く市内企業に周知してはどうか。

商工労働部長

即応予備自衛官及び予備自衛官についての理解を深めていただき、市内の中小企業の人材確保を図るためにも、自衛隊富山地方協力本部と連携しながら機会を捉えて周知してまいりたい。

久保

市長の見解について問う。

市長（藤井 裕久）

国防を担う組織として我が国の国民の生命、身体、財産を平時から守っていただいている非常に大切な組織と捉えている。その高い志と崇高な信念に常日頃から私も敬意を抱いている。

私自身、30代から自衛隊富山地方連絡本部の青年防衛協力会のお世話をさせていただいた。任期を終えた方々のセカンドキャリアは非常に大事であり、富山市としても正面から向き合いたい。

富山市議会 会派 自由民主党

〒939-8510 富山市新桜町7板38合 自由民主党会派控室
TEL 076-443-2152 / FAX 076-431-6100

✉ info@jimin-toyamacity.jp



富山市議会 会派 自由民主党
www.jimin-toyamacity.jp



動画で定例会の様子をご覧ください

富山市議会インターネット中継

検索



LINE公式アカウント

市議会を身近に感じてもらえるような
情報発信をしています。
ぜひ登録よろしくお願ひします！